

令和8年度事業計画

基本方針

当社は、つくば発の革新的な先端技術を活用し、次世代の新たなビジネスを生み出すベンチャー企業や事業革新を進める企業の創出と成長を支援することによって、地域経済の発展と社会課題の解決に貢献することを目指しております。

令和6年度に策定した3か年の第5次中期経営計画では、「地域の新事業創出・育成を担うイノベーションハブへの成長を目指して」をテーマに、「新たな事業機会の探索」「ベンチャー企業などに対する支援能力の強化」「快適な施設環境の提供と施設供給強化の取組」の3つの柱と、その実現のための土台づくりを基本方針に掲げているところです。

中期計画の最終年度にあたる令和8年度は、7年度までに行ってきた茨城県内の大学や研究機関の外部連携部門実務者との連携を一層進展させ、これまでに掘り起こしてきた各機関の優れた技術シーズを当社の各種事業を通じて外部に展開していくとともに、新たなビジネスモデルの開発や将来の事業化に向けた取組も進めてまいります。

また、他地域・他機関と連携した技術発表イベント等の実施、国内主要展示会への出展支援、ものづくり交流会等も継続して実施する中で、県内の中小企業や大手企業のネットワーク、VC・CVC・アクセラレーター等の専門家の活用等により、つくば発ベンチャー企業に対するマッチング機会の提供や事業成長支援に取り組んでまいります。これらの取組にあたっては、創業支援も含め、行政等が実施する委託事業をできるだけ活用して効率的に実施することで、より大きな成果を目指すこととします。

つくば市所有のつくばスタートアップパークの受託運営については、立地特性も踏まえて大学発ベンチャーへの創業支援を維持強化するとともに、地元の小・中・高校生を対象にしたアントレプレナーシップ教育にも注力してまいります。

次に、当社収入の8割以上を占める自社施設の運営については、つくば駅周辺等で当社事業に類似する支援施設の建設に向けた計画が複数ある中で、計画的な修繕や機能・美観等のリニューアルを実施することにより快適な環境を提供し、施設競争力を維持して高い入居率や利用率の確保に努めてまいります。また、逼迫感の続くレンタルラボ需要への対応については、レンタルオフィスからの転用のほか、上記計画への参画や関与のあり方等について検討を行ってまいります。

経営基盤の強化については、研究機関等のシーズの事業化支援業務や、官民の専門支援機関、企業のスタートアップ支援部門等と連携して、実践経験を通じた支援能力向上の取組を継続してまいります。また、余裕資金の運用についても、一事業に匹敵する安定利益の確保に向けて、引き続き積極的に取り組んでまいります。